

# もう1人の仲間を国労へ!

## ～組織拡大経験交流集会開催～



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 伊藤秀樹  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 681 定価 20円

2009年  
1月30日

相談しよう  
要求・不満は  
国労へ

組織拡大特  
交流集会集



12月14～15日、マホロバマインズ・三浦において「国労東日本組織拡大経験交流集会」が開催されました。

06年11月、中労委の場で係争事件の一括和解が成立し、それを契機としてこれまで45名の仲間が国労へ復帰・加入をしてきています。とりわけ9月に開催された第22回定期大会以降14名の拡大が図られており、これまでにない拡大の流れが出来つつあると見られます。

一括和解以降、まだまだ公平・公正な取り扱いは行われていない事例が多く報告されています。交流集会は、各地方・地区本部、そして各支部組織部長が参加し、和解の意義を周知徹底させ、不公平感を是正していくためにも拡大の流れを点から線、そして面へと更に大きくしていく事を意思統一するために取り組みされました。



一日目にはこれまで拡大が図られている分会、そして拡大は図れなかったものの新採対策を通す中で拡大が意識され継続してつながりを持ち続けている分会の代表者が出席し、パネルディスカッション形式で報告をいただきました。(別掲)

報告では、拡大を意識したきっかけ、自分自身が拡大を決意すること、和解以降の情勢をきちんと捉え掲示板の活用など当たり前の運動をしていくこと、個人



報告では、「国労の姿を若い人はよく見ている。また、復帰した仲間からは、客観的に見た国労の姿や教訓点、そしてJRにとどまらず労働者全体の問題として運動をしていくことが今後の拡大に結びついていくのではないかと述べられました。」



「人間関係もあるが国労の運動を見て加入を決めた。」「自信を持って声をかけたい」など平成採用者からの思いが語られました。

その後、分散会報告、交流会直前に拡大がされた仙台地本、3月に一括和解が成立し復帰と同時に全国的に新規採用者や平成採用者の加入がされている貨物東日本として初めて女性組合員の拡大が図られた婦人部からそれぞれ報告をいただき、最後に組織部長から交流会のまとめと今後の取り組みについて確認がされ青年部長の団結がんばろうで交流会は終了しました。



パネルディスカッション後は、報告をもとに分散会が行われ、各支部で拡大するに当たっての悩みやぶつかり、それを克服するため必要なことをつき合わせ、今後の取り組みを確認してきました。

2日目は青年部の仲間がリードし交流会が進められ、最初に、加入・復帰した仲間から加入に至った状況や加入して感じていることを率直に報告していただきました。(別掲)

# 職場を明るく！自由に加入できる雰囲気を！！



武田組織部長

## これまでの経過を！！

【司会 武田組織部長】

これまでの加入・復帰者の経過などお話ししていただきたい。

**長野** 運輸区分会は全体集会ができない代わりに2・3月に一回酒でも飲んで話をしようということになって、駅に配属された新入社員を呼んで交流会をしていました。現在でも他職場に出た人も呼んで交流会をしている。趣味などでつながりを持って現在に至っている。

**水戸** 4年前に現在の駅に来た。その駅の雰囲気が悪かった。国労の掲示物は張り替えていなかった。兼掌などで苦情、過不足あれば管理者に罵倒されてきた。暗い職場だった。職場を明るくするのが第一、その中で

何でも話せる人間関係ができた。

何でも話せる仲間、信頼感が仕事上も安心感をお互い持つことができている。職場での人間関係を作るレクレーションも大



後藤さん（東京）

切、職場で何でも話せる人間関係があれば組織拡大をあまり意識する必要は無いと思う。

**東京** 昨年7月JR労組の立ち上げ、JR労組の役割は東労組に不満を持ったメンバーを国労によささない、JR労組で吸収をするという目的が明確だった。その前に国労に来る流れを作らないといけない、思いがあった。「東労組分裂」「浦和電車区事件」「教導に東労組がない」等、様々好条件が重なった。

一人になったとどうするのか、不安もあったが、自由に加入できる雰囲気を職場に作る事が大切。

「復帰の方にも国労を裏切った俺を受け入れてくれるのか不安があった」

「あの時代は異常だった、今は大歓迎だよ」等の思いを伝え加入になった。

**新潟** 10年かけて加入してもらった。新採を獲得するより、流されて東労組に脱退した人たちの復帰のほうが可能性は高い。「負い目を我々がどう解くのが課題だ」流されて東労組で楽をしてきたわけではない。本意ではない増収活動など参加させられている。長い

スパンでの実践に尽きるのではないか。



小桜さん（貨物）

## 国労加入を！！

**貨物** 3月貨物和解したが、西と北海道は加入した。関東からは非加入させた。思い加入用紙を渡し、加入してもらった。

今一番思っているのは、一回の呼びかけでは成果は得れない。私はいろいろな組織拡大会議に参加するが、人間関係だけでは進まない、繋がらない。職場では国労の仲間が飲み会などあらゆる場で何度も国労加入を呼びかけている。未加入者に対する国労復帰を呼びかける必要がある。

## 具体的な呼びかけを！！

その後継続して訴えている。その後継続して訴えている。その後継続して訴えている。

**司会** 職場で加入を言い出せなく「いいおじさん」で終わっているのが現状ですが、加入を具体的に呼びかけたきっかけをお聞かせください。

**千葉** 結果は出ていないが、全員に加入用紙を渡し書いてくれといった。反応は「仕事を覚えるまでだめです」「東労組のほうに力があるので東労組は辞めません」、東労組の力があるのならなぜ合理化が進むのと反論もしましたが、自分の労働条件を考えるなら国労に加入したほうがよい、そ

の後も継続して訴えている。その後継続して訴えている。その後継続して訴えている。

の後も継続して訴えている。その後継続して訴えている。その後継続して訴えている。

**長野** 勤務の問題で以前の職場から今の職場になったとき、女性社員はビュウにはいきましたが、駅には初めての配属で、何で私が転勤なのか泣いて訴えられた。「トイレ、シャワー、風呂、休憩室」等の問題あったと思います。今の東労組では

変えることが出来ないと思いい、国労に加入させるべきだと判断した。



太田さん（長野）

**水戸** 一回だめだから諦めるのではなく、二回・三回一緒に闘っていく自分の気持ちを伝えれば国労に入ってくれると思っています。

**貨物** 最初に加入してくれた仲間が分割・民営化の時「国労ではJRに残れない」と言われ脱退した。当時彼の脱退を説得した管理者は亡くなって恩義は果たせただろう。本人は「脱退に後ろめたさ」

があったので決意してくれた。

**東京** ライフサイクル問題が運転区では大きな比重を占めていた。特効薬はあるわけでもなく国労の決意が問題ではないかと考える。若い人たちの心配している「先輩が居なくなった時どうなるのか」の問いには「その時また考えればいいじゃないか」そのくらいの軽い気持ちがお互い必要だと考えています。特別若い人にすばらしい活動を期待する必要もない。

**新潟** 平成9年運転区と車掌区が一緒になって運輸区が発足した。旧勤務の役員が我が物顔「国労と話すな・聞くな・一緒に茶飲むな」仕事の話のときも横から割って「誰と話をしているんだ」と恫喝する。現場管理者も見えぬ振りをする。旧勤務役員が退職を向かえ影響力は低下している。運輸区の拡大は国労の頑張りより、東労組が自滅したと分析している。東労組の妨害も無く拡大運動の障害が少なくなった。

が自滅したと分析している。東労組の妨害も無く拡大運動の障害が少なくなった。

# 会場からQ

**司会** パネラーの方から職場での活動、加入に至った経過・決意報告をされましたが、全体的にいろいろ悩みながら同じような様々な活動をしてきたと思います。パネラーの方に詳しく聞きたい、経験上の悩み・ぶつ

かっている事聞きたいこと

とはありますか。

**盛岡**（会場発言） 若い労働者との繋がり、接点の持ち方事例など具体的に報告をお願いしたい。

職場の改善の事例など報告できればお聞きしたい。

**東京**（会場発言） 私も同じく仲間と話すのが、

「国労に入れてどうするんだ」との声が多い。職場の中でどのような話でそうなったのか、教えて



いただきました。「相手から何度断わられても言い続ける」その気持ち

を聞かせてください。

**水戸** 特別何かをするということではなく、職場の他労組を含めた話し合いを大切に職場の問題点を現場長と話す。新採との係わり

では、職場の中で同じものを食べて、同じ仕事を

して、同じ目線で考えていくことが大切だ。あと役員ではなく身近な人が加入を訴えることが、「相手に対して気持ちが伝わった」と感じていきます。

**貨物** 率直に組織の危機感があつた。団塊の世代が退職する。国労組織がなくなってしまう。そのような危機感から目的意識的に加入の声かけができています。

**退職送別会、激励会** など現在ではできるが、もう少し経てばどうなるのだろうと考え、「歓迎集会」を増やしたほうがよい。「加入用紙を書いてもらった時の喜びは忘れられない」その気持ちが非常に強い。

団塊の世代が退職するときは、若い人を一人拡大



坂内さん（千葉）

して退職してほしい。

**千葉** 団塊世代が退職すれば組織が減る。危機感、今が大切だ一括和解以降差別が無くなった。「東労組の浦和事件」等自信を持って国労加入を勧められる。ここは本気になる必要がある。私は議員をしていたが、地域に出ると国労の良さがわ

かった。国労の仲間は本気になって選挙もしてく

## あとは本人を信頼する!!

**司会** これまでの話を受けて、さらに聞きたいという方がいれば質問を受けます。

**長野**（会場発言） 私も対象者がいますが、早めの対応が良いのか、長いスパーンで辛抱強く行動し何回も訴える方が良いのか、パネラーの皆さんの助言をお願いします。



池田さん（新潟）

**新潟** その人の性格によ

強い人は早めに対応、今の若い人など「飲み会に誘って加入を言う」とそれが目的と悟り「標的にされた」感情を持つ。私も鉄労から国労に加入しましたが、信頼関係だと思



坂場さん（水戸）

思う。加入の説得をしてくれた人が人間的に魅力のある人が重要と考え

る。加入対象者の性格を見極める必要がある。

**東京** 特別な特効薬はない、様々な付き合いがあり、気は熟しながら山場を迎える。また山場が過ぎるそのような感じ

です。時期は波のように来るその時期を絶対逃してはだめだ。あとは本人を信頼するしかない。

**水戸** 駅を経験して車掌になる。国労や組合員に「東労組の不満・会社

の不満」言える人間関係を作る。悩みなど相談してくるのは国労に期待しているから、行った先の分会と関係を（相手の性格嗜好等含め引き継ぐ）作るようお願いしている。一人入れたら次の二人目を入れるのが、国労に加入してくれた若い人への恩返しと思

## 参加者の感想 印象に残った発言

・一回では駄目、自分が加入させようと強い決意が伝わった。

・仕事は楽しく運動もしていくこと、問題を一緒に考えていくことが必要

・平成採用者の中には国労の事を見ていき

かけがあれば来る人がいる。

・きめ細かな世話役活動や「明るい職場づくり」などの積み重ねで人間関係を作り結果として拡大につながっていることが参考になった。



・職場全体で拡大を取り組む環境をつくること。チャンスを見逃すな。

・国労はすばらしいそのすばらしい国労を残したい。

・国労に戻ることで国労の人たちが迎えてくれるのか不安だった。

